

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成 29年 6月29日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市北区上賀茂本山	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 学校法人 京都産業大学 理事長 柿野 欽吾
京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	エコ京都21（京都・環境を守り育てる事業所等）
適 用 範 囲	学校法人 京都産業大学
導 入 年 月 日	平成26年 8月 1日
認 証 番 号	26-温暖化防止第4号
基 本 方 針	平成22年度を基準にして計画期間中に1%以上の温室効果ガス排出量の削減を図る
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	省エネルギー（CO2）・・・平成22年度比1%以上削減排出量
目標を達成するための取組の内容	冷房温度設定28℃の遵守・暖房温度設定20℃の遵守 昼休み照明の消灯
目標を達成するための取組の進捗状況	ソフト面における取り組みは実施できたが、ハード面についてはコジェネレーションシステムを導入した。また、平成28年度は、建物の増加・実験機器等の増加や、夏日の増加により、本来であれば9月末日で終了する空調の運転を10月8日まで延長したが、使用量が増加に影響している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	平成28年度はコジェネレーションシステムを導入した。また、ソフト面で省エネルギーに取り組むことができた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	これまでに違反並びに行政当局からの指摘はなかった
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	見直し等の必要性については、原則年1回検討を行なっている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。